

みなさまへお願い

・病院の正面玄関付近には、車・自転車・バイク等は止められません。自転車・バイク等でお越しの際は、病院北側の駐輪場にお停めください。

・診察券について、患者様の誤認を防止する取り組みとして、当院では診察券によるご本人確認を実施しております。診察券を持参されていない場合は、有料（50円）で再発行させていただきます。ご理解・ご協力をお願いいたします。

・忘れ物について、忘れ物は1階総合受付にて1カ月間保管しています。保管期限がすぎましたら処分させていただきますのでご了承ください。

・外来処方箋の有効期限は、発行日を含め4日間です。

・月に1度、受付にて保険証を確認させていただきます。

診療時間

	午前	午後
月～金	9時より	13時より
土	9時より	午後はありません

受付時間

	午前	午後
月～金	8時30分～11時30分	12時30分～15時30分
土	8時30分～11時30分	午後はありません

※科によって異なる場合があります。また、予約制の科もございますので、お電話にてお問い合わせください。
※午前中の混み具合や急患等により、午後の診療開始時間が変更になる場合があります。

～予約電話受付時間～

平日 10:00～12:00 13:00～16:00
(12:00～13:00 は予約電話を受け付けておりません)
土曜日 10:00～12:00
日曜祝日は予約対応できません

診療科目

内科・呼吸器内科・糖尿病内科・消化器内科・
リウマチ科・外科・消化器外科・肛門外科・乳腺外科・
整形外科・脳神経外科・形成外科・耳鼻咽喉科・
皮膚科・泌尿器科・眼科・婦人科・放射線科・
リハビリテーション科・麻酔科

関連事業

仁和会訪問看護ステーション 042-645-6298
仁和会訪問リハビリテーション 042-644-3729
仁和会介護支援センター花 042-646-5552

面会時間

面会対象者：ご家族またはご親族（小学生以下は不可）
面会時間：平日、土日祝ともに14:00～18:00
1回につき2名まで、15分での面会となります。
平日は1階総合受付へ、土日祝日は出入口にてお手続き下さい。（検温をお願いしています。）

アクセス



JR八王子駅から
徒歩3分

京王八王子駅から
徒歩1分

駐車場 26台 2時間まで無料、以降1時間ごとに300円

月～金 8:00～18:00 土 8:00～14:00

日・祝・年末年始は営業休止しております

【利用可能サイズ】

全長 5.3m 全幅 2.05m 全高 1.55m 重量 2.3t

仁和会だより

第26号
2024年7月

発行：一般社団法人 仁和会総合病院 広報委員会
TEL 042-644-3711 ホームページ <http://www.jinwakai.jp>



みんなで熱中症対策！

知っておきたい3つのポイント！

1. 体に熱がたまると、脳や内臓への血液が不足する
2. 汗をかく機会が減少し、暑さに弱くなっている
3. 真夏日よりも、暑くなり始めの日が要注意！

暑くなると、私たちの体は汗をかいたり皮膚の血管を拡張させたりして体温を調整しています。しかし皮膚に血液が集中するほど脳や内臓への血液が不足し「熱中症」の症状が現れます。熱中症は、30度を超える真夏日に多く発症しますが、梅雨の時期や梅雨明けの蒸し暑い日にもよく起こります。冷房の効いた室内で長時間過ごしていたり、汗をかく機会が少ない暮らしをしていると、その変化に体温調整機能がうまく対応できず熱中症になりやすいのです。熱中症を防ぐには、暑くなり始める前から対策が必要になります。

1日も早く夏モードの体づくりを！

*上手に汗がかける体の準備をしよう

暑さへの適応力は汗をきちんとかく習慣が大切です。日頃からウォーキングなどの運動や入浴などで汗をかく機会を増やしておきましょう。しかし、汗で水分が出れば血液が濃くなります。水分は“早め”にかつ“こまめ”に補給しましょう。十分な栄養と睡眠に加え、室内の温度・湿度の管理も大切です。なお、熱中症が疑われる場合は何よりも迅速な対応が必要になりますので、少しでも異変を感じたら相談しましょう。



栄養科だより

熱中症対策に！ 自宅で作れる『経口補水液』について

いよいよ夏本番となりました。昨年の夏は、過去最も暑い夏となりましたが、この夏も異例の猛暑となる可能性があります。日頃から熱中症対策を心がけてください。

経口補水液って何？

経口補水液は、医学的知見から水にナトリウムやカリウムなどの電解質（塩分）と糖分（砂糖やブドウ糖）を一定の割合で配合設計された飲料です。塩分などの電解質が十分量含まれるとともに糖分も入っており、水分や塩分を身体に素早く吸収させます（水より約 25 倍吸収効率がよいとのこと）。そのため経口補水液を飲むことで水分とともに適度な電解質を補給することができ、脱水症の重症化を防ぐことができます。

経口補水液はどんな人が飲むのか？

感染性腸炎、感冒による下痢・発熱を原因とした脱水症、高齢者の経口摂取不足を原因とした脱水症、過度の発汗を原因とした脱水症、脱水を伴う熱中症などが挙げられます。

特に高齢者、小児は注意が必要です。高齢者は、体内の水分量が少ないため、普段よりも多く汗をかくだけでも脱水症の原因となりえます。小児は代謝が活発であるため、大人が気付かないうちにたくさんの水分を失っていることがあります。このような方には積極的に経口補水液を飲んでいただきたいと思います。飲む量の目安は成人で1日 500～1,000mL です。



スポーツドリンクとの違いは？

スポーツドリンクは、経口補水液と比べると塩分が少なく糖分が多くなっています。そのため、スポーツドリンクの飲み過ぎが問題となっていて、“ペットボトル症候群”と呼ばれる高血糖症状（吐き気、腹痛など）を引き起こす場合があります。

一方、経口補水液はスポーツドリンクと比べて糖分は少なく塩分が多くなっています。よって、素早く水分・塩分の補給を行えるのですが、そのままでは美味しいと感じないかもしれません。そのため、市販の経口補水液は色々な味付けの工夫をすることで、比較的飲みやすくなっています。もちろん、こちらも飲み過ぎには注意が必要です。



経口補水液の作り方

このような経口補水液ですが、自宅でも簡単に作ることができるので、一度試してみても良いかも知れません。作る時は、水、塩分、糖分のバランスが重要なので、しっかりと量り取るようにしてください。

材料

水 1リットル

砂糖（上白糖） 40g（大さじ4と1/2杯）

塩 3g（小さじ1/2杯）

お好みでレモン等の柑橘果汁

作り方

1. 1リットルの水に、砂糖 40g、塩 3g を混ぜて溶かす。
2. お好みでレモンなどの柑橘類果汁を加える。

経口補水液は市販のものもあるため、買い置きしておくとも良いと思いますが、緊急時に備えて一度作ってみてはいかがでしょうか。



仁和会総合病院における新型コロナウイルス感染症への対応とお願い

当院では、新型コロナウイルス感染症に対して、感染制御医師（ICD）の指示の下、感染管理チームを中心として以下のような対策を講じています。

このような状況下ではありますが、患者さん・ご利用者様に安心してご利用頂ける環境の整備を目指しております。面会の制限など、ご不便をおかけいたしますが、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

■ 来院される方に関して

◇来院される方全てにマスクの着用を義務付けております。

◇正面玄関では入館されるすべての方の検温を行っています。

（これに伴い、子安神社側入り口は、職員・納入業者専用の通用口となっています）

◇発熱のある方、味覚嗅覚に異常のある方、感染者との接触歴がある方など、新型コロナウイルスへの感染が疑われる場合には、現在 1 階総合受付にて受付をしております。

■ 入院に関して

◇当院では、新型コロナウイルス陽性患者の入院治療は行っておりません。

◇市中における新型コロナウイルス感染症の蔓延を踏まえて、入院患者への面会は制限のうえ行います。

■ 院内では

◇職員は、勤務前に体温を測定し、記録しております。

◇職員は、マスク着用・手指衛生の徹底などの標準予防策に加え、状況に応じた接触・飛沫感染対策に細心の注意を払って業務にあたっております。

◇職員は、対面しての食事を避けるなど院内での感染防止に努めております。

◇外来待合、各種検査室などでは定期的に換気を行っております。